

平成30年度 横浜市市民活動支援センター（運営事業）中間振り返り

事業実施団体名
特定非営利活動法人 市民セクターよこはま
事業概要
市民公益活動に関する次の事業 ①相談事業 ②情報の提供・発信事業 ③市民活動マネジメント支援事業 ④ネットワーク構築事業 ⑤各区の市民活動支援センター支援事業 ⑥共同オフィス事業 ⑦施設管理事業 ⑧協働の推進 ⑨自主事業団体との連携および協力
事業進捗状況（詳細は、別添 団体発表資料参照）
1 相談事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常的な相談対応：463件（9月末時点 前年同月比132%） ・ 中間支援組織との連携による相談：14件 ・ 専門相談（税理士による無料相談、資金調達おうえんチームによる相談等）の実施：17件 ・ アドバイザー派遣事業：9件 2 情報の共有・発信事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ animato 24号「プロジェクトダイナミズム」発行（8月 10,000部） ・ ホームページレイアウト更新（アクセス数前年比120%） 3 市民活動マネジメント支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ NPO 法人事務 ミニ講義&相談会（3回開催 参加者のべ36名） ・ 超実践！よこはま NPO 会計塾（全4回 参加者のべ122名） ・ 助成金トライアルセミナー、トップマネジメントセミナーの開催準備 4 ネットワーク構築事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ つながりのまちづくりフォーラム2018開催準備 5 各区の市民活動支援センター支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 支援センター職員新任者研修（参加者26名） ・ ネットワーク会議の開催（支援センター・地域振興課職員対象2回開催：参加者のべ58名） 6 共同オフィス事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 入居団体数：10団体 ・ 共同オフィスオープンミーテの実施（2回開催 参加のべ14団体） 7 施設管理事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 来館者数：26,843人（9月末時点 前年同月並）

主な意見交換内容

(委員) animato24 号でキーワードとしていた「関わりしろ」という言葉は、とても良い表現だと感じた。

(委員) 中間支援組織との連携による相談は素晴らしい取組だと思う。どのような形で相談が持ち込まれるのか教えてほしい。

(市民セクターよこはま) パターンとしては2つあり、市民活動支援センターへの相談として持ち込まれ、話を聞いていく中でセンターだけでなく、中間支援組織と連携しながら対応するのが望ましいと判断するパターンと、連携している中間支援組織側からセンターにコーディネートを含めて依頼されるようなパターンがあります。中には、相談者が予め相談したい中間支援組織を指名するような場合もあるが、そのような場合でも、センターによる詳細ヒアリングを行っている。

(委員) 区版市民活動支援センターの支援について、従来、市民活動支援センターの領域と区版市民活動支援センターの領域にとっても温度差があるように感じていたが、最近埋まってきているように感じている。地域との距離感も近くなってきており、とても喜ばしく思っている。

(委員) 地域の高齢化などの課題がある中、新しいコミュニティとしてのカフェなどといった居場所を作っていく取組はとても面白いと思っていて、それを繋げていくというのはとても良いと感じた。広報についても、わかりやすく若い世代にもアプローチできるような内容になっていてとても評価としては高い。

(自主事業団体) 市民活動支援センターとの連携をもう少し密にやっていきたい。

(市民セクターよこはま) 広報や施設利用などといった基本的な部分も含めて、改めてどのような連携ができるのかを考えていきたい。